

令和8年

一日時 3月 28日(土)

13時30分～15時 (開場13時)

一講師 秋山 沙也子 (本館学芸員)

一会場 佐賀城本丸歴史館外御書院

[聴講無料・当日受付]

さが歴史の道

— 往還し、交わり、続いていく —

江戸時代の肥前国には、人・モノ・情報が行き交う街道（往還）が多く存在していました。なかでも、当時唯一の西洋世界への窓口であつた長崎と九州の玄関口である小倉を結ぶ長崎街道は、多彩な文物が行き交う、政治的・文化的に最も重要なルートの一つでした。さらに、北西の玄海灘側には唐津街道が拓かれ、唐津藩や福岡藩などに活用されました。今回のゼミナールでは、江戸期の佐賀の道を舞台とする人やモノの往来、交流の様相を、開催中のテーマ展「さが歴史の道」をさらに深く掘り下げながらご紹介します。在りし日の街道の姿を想像しながらお楽しみください。

